

くらし設計室

穂垣 友康・穂垣 貴子

【作品名】

西条の家

設 計	くらし設計室
施 工	株式会社 隅田木造建築店
竣 工 日	2021年4月28日

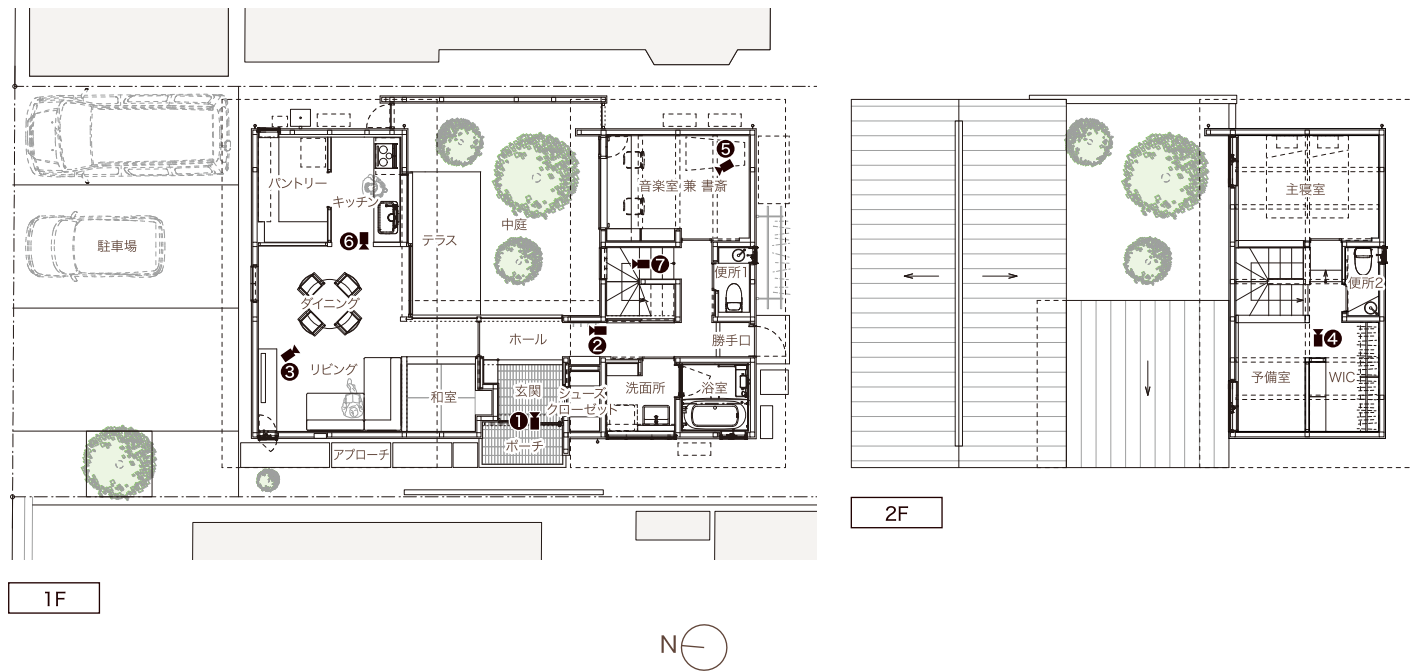
建物概要

建 設 地	広島県東広島市	延 床 面 積	94.16㎡
敷 地 面 積	199.00㎡	構 造・規 模	木造2階建

設備面の特記

厨 房 機 器	IHクッキングヒーター
給 湯 機 器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン・床暖房(ヒートポンプ式)

平面図



設計コンセプト

緑豊かな学園都市である広島県東広島市。敷地は住宅や集合住宅が建ち並ぶ住宅街にあることから、周囲からのプライバシーを確保するようにコの字型の建物と自立壁(防火壁)で中庭を囲み、その中庭を抛り所として居場所が展開していく静謐な住まいをつくりたいと考えた。

計画としては、北側道路から切妻屋根の平屋のLDK、敷地中央に天井高を抑えた平屋の玄関・和室、隣地マンションからの視線を遮るように南側に2階建てのプライベートスペース・水廻りの3つのボリュームを配置している。

建物へは、光を抑えた西側アプローチより中央の玄関ポーチへ。扉を開けると中庭へとつながる空間が広がり、中庭からの光に満たされる。ホールは中庭と一体となるようにFIX窓とし、上部には隣地建物を

ぼかしながら視線を下部へと誘導するレース障子を設置している。レース障子は、和室の前まで連続することで流れをつくり、天井高約3.5mのLDKへと居場所を展開する。LDKは切妻屋根・柱を現しとすることでそれぞれの居場所をつくりながら、架構が連続するワンルーム空間となっている。ダイニングの窓は掃き出しで中庭のテラスとつながり、キッチンでは料理をしながら庭の緑を楽しむことができる。2階のプライベート空間へ上る階段は、光量を抑えながら異なる視点で中庭の緑を楽しむように足元に格子窓を設けている。日が沈むと部屋に明かりが灯り、中庭を含めたそれぞれの居場所が

審査委員講評

敷地環境を丁寧に読み解き、そこからボリュームを配したコの字形の中庭住宅です。

絶妙な居間の配置はもとより、玄関・階段・畳の間・DKと各所で光や中庭との関係が考えられた緻密な設計で、木製建具を多用しながらもその開き勝手を限定することで気密性を確保し省エネにも配慮されています。

完成度の高い大人の住宅です。

写真撮影／笹倉 洋平



①玄関ホール。扉を開くと中庭へつながる空間が広がり、明るい光に満たされる。

②切妻屋根・柱を現しとしたLDK。それぞれの居場所をつくりながら、ひとつながりの空間をつくりだす。構造材には、県産材の杉を使用している。



③廊下の窓は中庭と一体化するようにFIX窓とし、上部には視線を下部へ誘導するレース障子を設置。和室の前の廊下まで連続しLDKへと居場所を展開する。

④2階の切妻屋根も梁材を現しとし、主寝室と階段ホール、予備室までの視線が抜けるようにした。自然素材を感じながら小さな住まいの中でも広がりを感じるように工夫している。



⑤音楽室の窓は庭の景色を取り込むFIX窓と通風のための開き窓を組み合わせている。

⑥その場所の光と空間、暮らしに調和する自然の無垢材を使用した家具を作りたいと考えた。テーブル、椅子、ソファ、テレビ台はこの家のために製作。既製品ではなく地域の家具職人と共にすることで人と地域が繋がるようなものづくりの循環を目指した。

⑦穏やかな光に満たされた中庭。日が沈むと部屋の明かりが灯り、中庭を含めたそれぞれの居場所がつながる夜の風景が美しい表情をつくりだす。